



令和4年度自殺対策研修(J-5)

自殺未遂者支援研修

自殺未遂者に対する理解を深め、よりよい相談支援を行えるようになることをめざして、自殺未遂者特有の支援の難しさと、支援者側に起こるさまざまなこころの反応について学ぶとともに、支援者自身のセルフケアと組織的な対応についても学びます。

日時 令和4年10月21日(金) 午後2時から5時まで

場所 大阪府こころの健康総合センター 4階 研修室(大阪市住吉区万代東3-1-46)

対象 ①大阪府内(大阪市・堺市を除く)の保健所、市町村の保健・福祉関係部署で精神保健福祉業務を含む相談支援業務に従事する職員
②大阪府内の精神科医療機関や三次救急の医療機関職員
③大阪府内(大阪市・堺市を除く)の福祉関係機関で相談支援業務に従事する職員
[定員20名]

○講義: テーマ「自殺未遂をした人をどのように理解し支援するか
～支援者のこころの反応とセルフケア・組織対応～」

龍谷大学短期大学部 こども教育学科 准教授 赤澤正人 氏

○グループワーク

- その他**
- ・会場定員の2分の1以下、十分な換気、間隔を空けた座席配置など三密を避けながら、感染防止対策を講じ実施します。
 - ・発熱や呼吸器症状がある場合は、研修参加を御遠慮ください。
 - ・受講者は各自マスクを御準備の上、着用をお願いします。
 - ・新型コロナウイルス感染拡大状況により、研修を延期もしくは中止することがあります。

[申込み方法]

申込みフォームから直接お申込みください。

(※フォームからのお申込みができない場合は、担当者までお問合せください)

- ①氏名(ふりがな) ②職種 ③従事年数 ④所属機関名(例:大阪府こころの健康総合センター、〇〇市保健所、▽▽町立保健センター) ⑤所属課名(例:事業推進課、予防課、障がい福祉課)
⑥電話番号 ⑦メールアドレス ⑧受講動機 ⑨未遂者支援の有無

[申込み先]

こころのオアシス <http://kokoro-osaka.jp/> (研修→自殺対策研修 →「J-5」)

申込みフォーム <https://www.shinsei.pref.osaka.lg.jp/ers/input?tetudukid=2021040067>

[申込み締切り]

令和4年9月30日(金) *ただし、定員になり次第、締切りとさせていただきます。

***受講いただけない場合は、開催日までに連絡します。**

*1 機関より複数参加申し込みのあった場合は人数調整をする場合があります。

[問合せ先]

大阪府こころの健康総合センター 事業推進課 担当: 伊藤・南・大岩

電話 06-6691-2810 (課直通)

FAX 06-6691-2814

大阪府の自殺の現状

自殺の多くは、病気や障がい、慢性的な疼痛などの健康問題、倒産や失業、多重債務などの経済・生活問題、介護・看病疲れやいじめなど、個人の自由な意思や選択の結果ではなく、さまざまな要因が複雑に絡み合い、「心理的に追い込まれた末の死」と言われています。自殺に追い込まれる危機は、「誰にでも起こりうる危機」と言えますが、適切な支援やサポートによって防ぐこともできます。

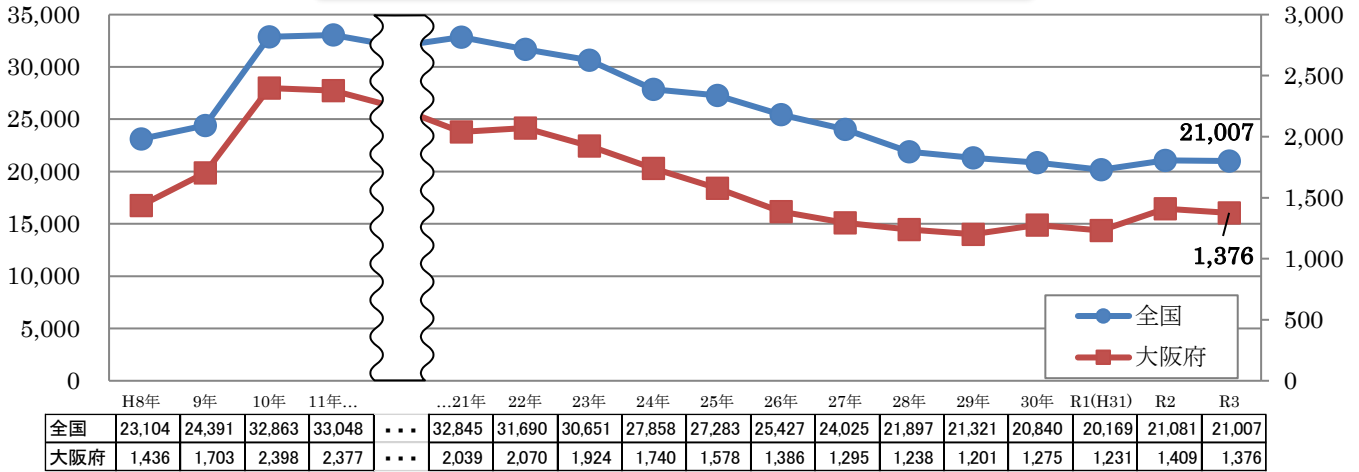
生きることへの包括的な支援をするために、関連機関が相互にかつ密接に連携する必要があります。



全国（人）

最近の自殺者数の推移（警察庁及び大阪府警察本部統計）

大阪府（人）

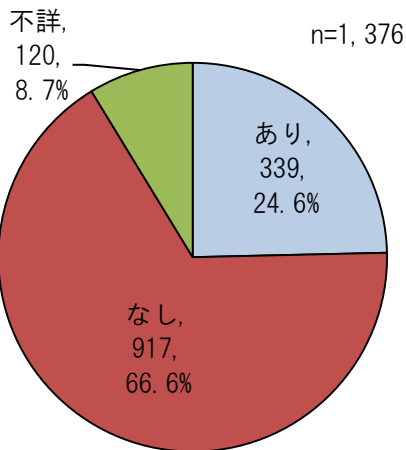


令和3年の自殺者数は、全国、大阪府ともに前年より減少したものの、新型コロナウイルス流行前の令和元年より多く、高止まりとなっています。

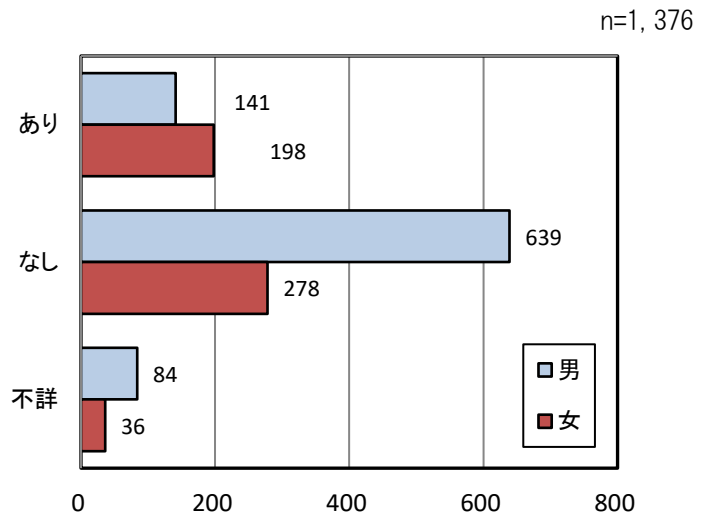
大阪府では、前年より33人減の1,376人でしたが、1日当たりでは3人以上の方が亡くなられており、依然としてたくさんの方の命が失われる深刻な状況が続いています。

令和3年の大阪府の自殺死亡率（人口10万人当たりの自殺者数）は、15.6でした。（全国 16.8）

令和3年・自殺未遂歴の有無



令和3年・男女別自殺未遂歴の有無



令和3年大阪府の自殺者のうち、自殺未遂歴なしが917人(66.6%)、ありが339人(24.6%)となっており、自殺者の約4分の1の人に未遂歴があります。

自殺未遂歴がある方は、男性が141人(41.6%)、女性が198人(58.4%)となって女性が約6割を占めています。

自殺未遂歴のある方は再度の自殺を図る可能性が高いと言われているため、再度の自殺企図を防ぐ支援が求められます。